

シビウ県立救急病院で草の根無償G/C署名式

平成23年3月15日、シビウ県立救急病院において「草の根・人間の安全保障無償資金協力」G/C署名式が執り行われました。

案件：「シビウ県立救急病院整備計画」

- (1) 供与金額 : 6万9,918ユーロ(935万6,818円)
- (2) G/C署名者 : シャンタ院長及び雨宮大使(署名式への参加者は小川一等書記官)
- (3) 案件内容 : シビウ県立救急病院は総合病院であり、同県民のみならず中部地域住民が広く利用し、年間の病院利用者は4万人に上ります。しかし、機材の老朽化及び基礎的機材の不足により患者が十分な医療サービスを受けられず、高額な治療費を払って私立病院に行かざるを得ない状況となっていました。日本政府が除細動器、電気メス、吸引機等を支援することにより、医療環境の改善が期待されています。

G/C署名式がシビウ県立救急病院で行われ、シャンタ院長の他、ステイーミー・タカタ・シビウ社長、ラクチウ・シビウ県知事、ショヴァヤラ・シビウ県議会副議長が参加しました。小川書記官は「この度供与する医療器材が、当地におけるより良い医療サービスの提供の一端を担い、シビウ市民・県民のみなさまに役立てば幸い。(日本は震災が起こったが)何が起きても我々は約束を守る。」と述べました。



署名式出席者一同



署名後握手を交わすシャンタ院長と小川書記官